

産油国トレーニング協力事業報告 (クウェート・アラブ首長国連邦)

1. 概要

産油国との研修事業の推進を図るため、奥山業務部長と研修部有井が平成 25 年 9 月 6 日（金）から 9 月 13 日（金）にかけて、クウェートおよびアラブ首長国連邦（UAE）を訪問しました。今回は特に研修事業の刷新の一環として、次年度開始予定の産油国幹部候補プログラム、国営石油会社向けの大学との新規連携プログラム、環境関係のカスタマイズド研修等の推進を主要目的としました。

次年度の幹部候補研修の新規開始については、クウェートの国営石油会社（KPC: Kuwait National Petroleum Co. および KNPC: Kuwait National Petroleum Co.）、および UAE の国営石油会社（ADNOC、TAKREER）とも歓迎の意向で、参加者の派遣に協力の意向を得ることができました。具体的な内容についても日本の製造業のマネジメントに関する研修を中心とすることで理解を共有することができました。また、ADNOC 等産油国石油会社向けの現地大学等との新規連携プログラムについては、ADNOC の各部門とも歓迎の意向であり、Petroleum Institute (PI) およびザイド大学（Zayed University）、等と具体的なプログラムを検討することとなりました。近年、協力を発展させている環境関係の産油国向けカスタマイズド研修については、両国の環境関係部門と今後の協力について具体的な準備を実施しました。

2. クウェート

① KPC 幹部研修部門（K-LEAD）

昨年の JCCP シンポジウムで KPC における幹部候補育成プログラムについて講演を行った、チームリーダーのサナシリ氏（Mr. Husain Ali Sanasri, Team Leader, Executive Performance Management, Leadership Development Dept.）他と面談を行いました。K-LEAD（KPC Center for Leadership Development）は、KPC 人事部門を所管する Managing Director の傘下の一部門です。主として幹部候補の育成、研修を所管しており、JCCP の幹部候補者向けの研修プログラムの新規立ち上げを歓迎する意向でした。

K-LEAD では、欧米の大学や石油会社と協力関係がありますが、日本との協力は初めてであり、次年度実施予定の幹部候補者向けの戦略管理コース（Strategic Management）について説明したところ、日本の製造マネジメントを中心とした内容で、日本の特色を生かした研修であるとの理解を得ました。対象としては、約 200 名いるマネージャーレベルを対象としたいとのことです。また、研修生を派遣するためにマネジメントの承認が必要であり、研修生参加準備の時間的余裕を得られるよう準備してほしいとの要請がありました。



K-LEAD サナシリ氏（中央）

② KNPC 人材開発部門

KNPC の人材開発部門を訪問し、チームリーダーのアブドラ氏（Mr. Fadhel Mirza Abdulla, Team Leader, Employee Development）とアル・オラヤン氏（Mr. Abdulrahman Al-Olayan, Team Leader, Training Project）等と面談を実施しました。

最初に JCCP より、産油国側の研修事業の拡充およびそれに伴うニーズ変化を踏まえた、研修の刷新内容について説明を行いました。KNPC からは、戦略管理コースに関して、基本知識と技術マネジメントを組み合わせる面白い試みとのコメントを得ました。特に、座学と工場等を訪問する実地研修のコンビネーションは有名大学では提供できないユニークなプログラムであり、管理者レベルだけでなく、Team Leader レベルの短期コースも実施したいとの要望がありました。また製油所の最適化や、ファイナンスについても研修を実施したいとの要望がありました。また、KNPC では、一時配属による職業体験プログラムの協力提携先を探しているとのことです。

③ KPC Petroleum Training Center (PTC)

KPC グループ内の内部研修を所管する Petroleum Training Center (PTC) のフセイン氏（Mr. Khaleel E. M. Husain, Team Leader, Coordination & Follow-up）と面談を実施しました。同センターは、各種外部研修機関に委託して、実際の KPC グループの研修プログラムの遂行を担当しています。特にプログラムは KPC グループ横断で階層別となっており、JCCP の研修プログラムの刷新については、同組織と情報交換を行うことにより、日本の強みを生かして JCCP 研修の内容を充実させていくことができるとしています。

④ KPC 環境部門

KPC の環境部門とは、一昨年の「Carbon

Management」、昨年の「Water Management」と、カスタマイズド研修を2年続けて実施し友好関係を深めてきました。今年度は、KPC 環境部門向けに日本におけるカスタマイズド研修「Environment Management and Advanced Technology」を11月に実施することになり、シャティ部長（Dr. Fatimah Al Shatti, Manager）他関係者と具体的なプログラムの内容や、派遣の準備作業について打合せを実施しました。また、最近では、JCCPの環境、エネルギー関係のレギュラープログラムにも同部門からの紹介で研修生が派遣されるようになってきており協力関係が深まっています。



KPC 環境部門

3. UAE

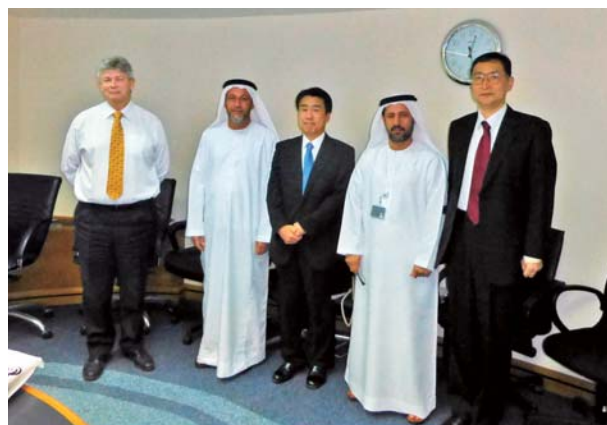
① ADNOC 総務部門

今年度のTCJに参加した、シュアイビ氏（Mr. Zayed Mohamed Al Shuaibi 氏（Manager & Travel Dept.）と面談を実施しました。ADNOC、大学、JCCPの研修事業協力はADNOCの幅広い人材育成の方向性と合致しており、必要に応じて総務部門でトップマネジメントとの面談の調整が可能とのことです。また、総務部門ではパブリックリレーションに関する職業体験プログラムのニーズがあるとのことです。

② ADNOC 研修・人材開発部門

幹部候補研修および研修事業の大学との連携に関して、アリ氏（Mr. Jumaa Rashed Al Ali, Manager, Training & Development Division）他関係者と面談を実施し、次年度のJCCP研修内容の刷新内容について理解を得ました。特に次年度に新規に開始する幹部候補研修「Strategic Management」について、日本の製造業のマネジメントを講義、工場訪問、討議を通じて学ぶ内容であることを説明し理解を得ました。ADNOC側も当該研修は、日本の製造業の特色を生かした研修内容であり、本研修に協力して参加者を派遣する意向を示しました。

ADNOC向けの研修プログラムを現地大学等と協力する研修事業協力について意向を確認したところ、ADNOCにはStudy Leave制度があり、社員が国内外の大学に留学しているとのことです。大学との協力はADNOC側の方針と合致しており、歓迎の意向とのことです。推進するにあたり、JCCPよりADNOCのトップマネジメントにレターを発信し、具体的な準備を始めるようアドバイスがありました。

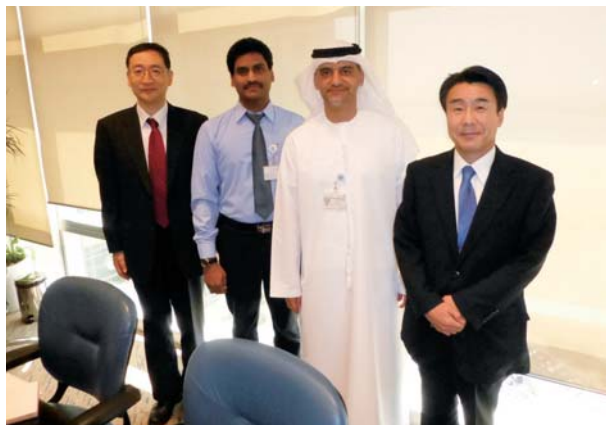


ADNOC アリ氏（左から2人目）

③ TAKREER 人事研修部門

TAKREERの人事研修部門のアル・ムタワ氏（Mr. Anwer Mahmoud Ghalib Al Mutawa, Head Training Section, Training & CD Dept.）他と面談を実施しました。来年以降の新規研修プログラムにつき説明し理解を得ました。また、「Strategic Management コース」についてはTAKREERの組織上は、Division Managerレベルが適当とのことで、TAKREERとしても参加者を派遣していきたいとのことです。また、人材開発のコースについては引き続き研修生を派遣していく意向を示しました。

UAEの大学との研修協力については、TAKREERにも学位取得のためのStudy Leave制度があり、歓迎の意向とのことでした。また、カスタマイズド研修については、JCCP側の提案を待っており、人材開発、メンテナンス、新規技術等のコースに関心があるとのことです。JCCPコースについては、多数の応募があり、トレーニング部門で調整して申請しているとのことです。



TAKREER アル・ムタワ氏（右から2人目）

④ ADNOC 環境委員会

ADNOCグループの環境関係事項を所管する環境委員会の委員長である、アル・カマリ氏（Mr. Abdulqader Al Kamali, Chairman, ADNOC Group Environment Committee, and Vice President, HSE of GASCO）と面談

を実施しました。同委員会とは、「エネルギー効率化セミナー」、「水資源の有効利用セミナー」と2年継続して環境関係のカスタマイズド研修を実施しています。また、環境関係のレギュラーコースに研修生を派遣するなど、協力関係を深めてきています。「Strategic Management コース」に関しては、期間を短縮して、管理職が参加しやすいプログラムを準備することも一案とのアドバイスがありました。

ADNOC グループ、大学、JCCP の連携については、ADNOC と PI とは協力関係があり、PI との協力をアドバイスされました。PI では、ADNOC Gr. から Mechanical、Chemical、Electrical、Civil、Process の各エンジニア 20 名強が参加して環境管理チームを形成し 120 時間の講座を開講しているが、それは大学の単位としても認定されているとのことです。

ADNOC 環境委員会からは、8 つの環境関係の取り組み課題について JCCP の協力打診があり、今後も情報交換を実施していくこととなりました。



ADNOC 環境委員会 アル・カマリ委員長（左から 2 人目）

⑤ ADNOC Marketing & Refining Directorate

ADNOC のアル・ムーラ氏 (Mr. Mahmood Al Mulla, Administration Coordinator) および、アル・マスカリ氏 (Ms. Naeima Al Maskari, Controller, Marketing Budget Accounting) 他と面談を実施しました。

Marketing & Refining 部門には Business Integration & Performance Division が新設され、部門の中期計画を担当しており、その方向に沿った案として以下のコースについて検討打診がありました。

- － 石油製品別特別コース
(例：LPG、Base Oil、Gas & Sulfur、Supply of Crude Oil & Refined Product)
- － 品質管理コースに、Marketing 部門所属の Inspector が参加し易い内容とする
- － 女性が参加しやすい環境作り

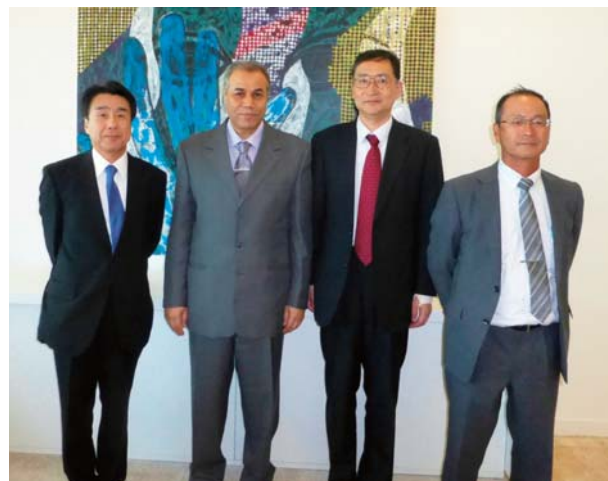
幹部候補研修や大学との連携に関しては、ADNOC は社会的貢献を期待されており、精製・販売部門も協力の意向とのことです。



ADNOC アル・ムーラ氏（右から 2 人目）

⑥ ザイド大学 (Zayed University)

UAE の代表的国立大学のひとつであるザイド大学のモハメッド教授 (Prof. Abdel Mohsen Onsy Mohamed, Vice Provost) と面談を実施しました。モハメッド教授は JCCP の技術協力事業、研修事業で協力を実施してきた経緯にあります。ADNOC、大学、JCCP の連携協力については相互補完の関係があり、歓迎の意向であり、具体的な準備作業について打ち合わせを行いました。まずは環境関係のプログラムについて、協力してプログラム案を作成することで合意しました。内容が双方にとり有益であれば、大学のマネージメントも協力を惜しまないとのことです。



ザイド大学 モハメッド教授（左から 2 人目）

⑦ Petroleum Institute (PI)

ADNOC グループの高等教育機関である PI のタグ副学長 (Dr. Ismail A. Tag, Acting President & Provost) およびアル・ハジリ氏 (Dr. Ebrahim Al Hajri (Director of External Relations & Collaborations) と、今後の協力の可能性につき面談を実施しました。

JCCP の研修プログラムについて、質疑応答を実施し理解を得た上で、PI の講義と JCCP の研修プログラムの協力について討議を行いました。PI でも ADNOC 環境委員会と水処

理、HSE Program、Soil Remediation などの課題を与えられており、JCCP との協力により、プログラムをより充実させることが可能性であるとのこと。また、夏季の集中コースで、産学連携で JCCP と PI で協力してプログラムを準備する可能性があるとのこと。また、カスタマイズド研修を活用して、UAE での Plant Visit を組み合わせる案等活発な議論を行いました。今後も協力の可能性について情報交換を実施していくこととなりました。



タグ副学長（左から3人目）、アル・ハジリ氏（左から4人目）

4. まとめ

(1) 新規幹部候補研修

KPC グループ、ADNOC グループの各部門とも、JCCP が幹部候補をはじめとした管理職関係の研修プログラムを充実させていくことに関して、従来より期待していた内容であり、歓迎の意向であることを確認することができました。

来年から新規の研修プログラムを開始するにあたり、プログラムの主内容について、説明、質疑応答を行い、KPC グループ

プ、ADNOC グループの各部門とも、研修内容について理解を得ることができました。具体的には、日本の代表的な製造業の訪問、日本の経営、技術の専門家と講義・討議、ワークショップ（環境エネルギー戦略、新規事業等）を主要内容にしていくことで準備していくことになりました。

また、研修対象者は、一定のマネジメント経験を前提として、トップマネジメントの承認のもとに研修生の派遣を実施する手続きが必要となります。チームリーダーレベル等別コースにより研修参加者の人数を増やしてほしいとの要望もありました。今後内容の充実を検討していきたいと思います。

(2) ADNOC/JCCP/ 大学との連携プログラム

JCCP のプログラムはビジネスに即した実務専門家、工業的な技術専門家で構成されており、大学等の高等教育機関との補完性が高いことが確認できました。特に UAE では ADNOC グループは総合的な人材育成の観点で大学との連携を強めており、本構想に関しては、ADNOC 各部門から幅広く多くの支持を得ることができました。

今後も協力にむけて情報交換をしていくこととなりました。今後、トップマネジメントの了解のもと、具体的な準備を進めていきたいと思います。

(3) 産油国国営石油会社の環境部門との連携

ADNOC グループおよび KPC グループとは昨年来の環境関係のカスタマイズド研修事業を継続して実施してきており、協力関係を深めてきました。その結果、現在、両グループの環境部門の中心組織から研修生派遣が継続して実施されるようになり、JCCP に対する信頼関係が構築されつつあります。こうした組織は、環境関係の問題意識も共通しており、日本の環境関連技術にも関心も高いため、JCCP として今後も連携を深めていきたいと思います。

（研修部 有井 哲夫）

